

**令和 3 年度**  
**第 2 回滝川市地域包括支援センター運営協議会**  
**(書面会議)**

---

次 第

1. 委員の改選について

滝川市社会福祉協議会選出委員

令和 4 年 1 月 26 日付け

前委員 川田 一之 氏 → 新委員 柴田 美紀子 氏

2. 議 事

(1) 令和 3 年 4 月～9 月滝川市地域包括支援センター  
活動報告について (P 1～P 6)

(2) 令和 2 年度高齢者実態調査結果報告について (P 7～P 8)

(3) 令和 3 年 4 月～9 月認知症初期集中支援チーム  
活動報告について (P 9)

(4) 地域密着型サービス事業所（共生型地域密着型通所介護事業所）の指定について (P 10～P 14)

# 令和3年4月～9月滝川市地域包括支援センター活動報告

## 1. 総合相談支援

高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活を継続できるよう介護サービスにとどまらない、保健医療福祉の機関又は制度の利用につなげる等の総合的な支援を行った。

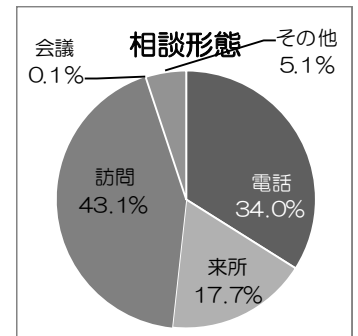
### (1) 相談件数（単位：件）

|           |       |
|-----------|-------|
| 3年度<br>前期 | 869   |
| 2年度<br>前期 | 1,036 |

相談件数が減。緊急事態宣言が発出された時期の相談件数が減っており、急ぎでない訪問や実態調査を控えたためと思われる。

### (2) 相談形態（単位：件）

|           | 電話  | 来所  | 訪問  | 会議 | その他 | 合計    |
|-----------|-----|-----|-----|----|-----|-------|
| 3年度<br>前期 | 295 | 154 | 374 | 1  | 45  | 869   |
| 2年度<br>前期 | 283 | 157 | 568 | 0  | 28  | 1,036 |



### (3) 相談者区分（単位：件）

|           | 本人  | 家族  | 民生<br>委員等 | 地域<br>団体 | 医療<br>機関 | 警察 | 実態<br>把握 | その他 | 合計    |
|-----------|-----|-----|-----------|----------|----------|----|----------|-----|-------|
| 3年度<br>前期 | 147 | 150 | 25        | 99       | 53       | 15 | 297      | 83  | 869   |
| 2年度<br>前期 | 146 | 140 | 27        | 84       | 77       | 14 | 501      | 47  | 1,036 |

### (4) 相談内容区分（重複あり）（単位：件）

|           | 介護日常<br>生活相談 | 医療に関<br>する相談 | 権利擁護<br>相談 | 実態把握 | 介護予防<br>事業 | 苦情相談 | SOS<br>関連 | その他 | 合計    |
|-----------|--------------|--------------|------------|------|------------|------|-----------|-----|-------|
| 3年度<br>前期 | 469          | 65           | 14         | 297  | 10         | 2    | 3         | 137 | 997   |
| 2年度<br>前期 | 461          | 56           | 15         | 495  | 12         | 1    | 3         | 106 | 1,149 |

### (5) 対応内容区分（重複あり）（単位：件）

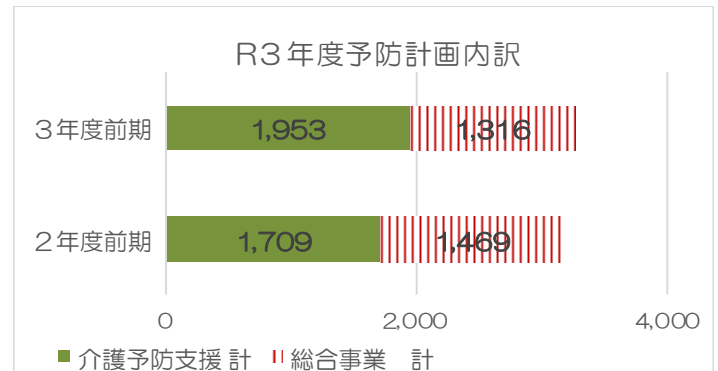
|           | 相談・<br>情報提供 | ケース<br>会議 | 連絡調整 | 家庭訪問 | 申請代行 | SOS<br>関連 | 調査訪問 | その他 | 合計    |
|-----------|-------------|-----------|------|------|------|-----------|------|-----|-------|
| 3年度<br>前期 | 627         | 7         | 545  | 326  | 41   | 0         | 261  | 100 | 1,907 |
| 2年度<br>前期 | 597         | 7         | 432  | 214  | 35   | 2         | 439  | 64  | 1,790 |

## 2. 介護予防ケアマネジメント事業

要支援1・2の認定者、総合事業対象者がより自立した生活を送れるために、適切な介護予防サービス等が提供されるよう、予防サービス計画を作成した。

### (1) 担当総件数（単位：件）

|       | 包括    | 委託  | 合計    |
|-------|-------|-----|-------|
| 3年度前期 | 3,224 | 317 | 3,541 |
| 2年度前期 | 3,155 | 195 | 3,350 |



### (2) 予防計画作成実績（単位：件）

|      | 介護予防支援 |     |       | 総合事業  |    |       | 合計    |
|------|--------|-----|-------|-------|----|-------|-------|
|      | 包括     | 委託  | 計     | 包括    | 委託 | 計     |       |
| 3年前期 | 1,743  | 210 | 1,953 | 1,239 | 77 | 1,316 | 3,269 |
| 2年前期 | 1,616  | 93  | 1,709 | 1,390 | 79 | 1,469 | 3,178 |

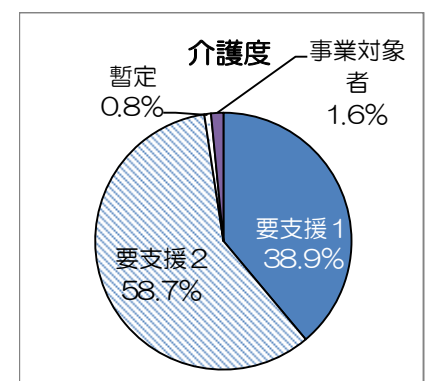
令和3年度指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメントに係るケアプラン作成

委託業務事業所（令和3年9月末現在）

- ・有限会社 ケア・コラボレートK・H
- ・医療法人社団 新緑会 文屋内科消化器科医院
- ・SOMPOケア株式会社
- ・社会福祉法人 旭川福祉事業会
- ・医療法人 翔陽会 滝川脳神経外科病院
- ・社会福祉法人 滝川市社会福祉事業団
- ・医療法人 シーザース・メディ・ケア
- ・社会福祉法人 滝川市社会福祉協議会

### (3) 介護度（単位：人）

|       | 要支援1  | 要支援2  | 暫定 | 事業対象者 | 合計    |
|-------|-------|-------|----|-------|-------|
| 3年度前期 | 1,375 | 2,079 | 29 | 55    | 3,538 |
| 2年度前期 | 1,192 | 2,059 | 20 | 79    | 3,350 |



### (4) 担当者会議開催数（単位：回）

|       |     |
|-------|-----|
| 3年度前期 | 352 |
| 2年度前期 | 526 |

計画作成数は増加している。新規利用者の利用サービスは、福祉用具貸与、デイサービスが多くなっている。

介護度は、前年度よりは要支援1の人数がやや多くなっている。

担当者会議は、緊急事態宣言時は急ぎの場合を除き、書面会議に切り替えており、回数が減ったものと思われる。

### 3. 一般介護予防事業

#### ますますげんき教室

介護予防チェックリストにより、外出の機会が少なくなり、運動機能などが低下している虚弱高齢者を対象として週1回、血圧測定・健康チェック・百歳体操・ミニ講座（栄養・歯科・転倒防止など）を実施した。緊急事態宣言発令のため、5～6月、9月は利用者宅への訪問と電話により、感染予防の注意喚起及び健康・生活状況などの確認を行った。

ますますげんき教室参加者数(単位：回・人・人)

|       | 開催回数 | 実人数 | 延人数 |
|-------|------|-----|-----|
| 3年度前期 | 20   | 27  | 229 |
| 2年度前期 | 26   | 24  | 263 |

### 4. 包括的・継続的マネジメント事業

地域の介護支援専門員の指導や支援のほか、高齢者が住みやすい地域にするため、関係機関とのネットワークづくりを行った。

#### (1) ケアマネジャーの相談窓口

相談件数（単位：件）

|       |   |
|-------|---|
| 3年度前期 | 4 |
| 2年度前期 | 4 |

困難事例の相談を受け、対応を検討した。

#### (2) 関係機関ネットワーク会議

在宅・施設・医療等の関係機関に呼びかけ、相談員・介護支援専門員が参加。偶数月の水曜日に定例で情報交換・事例検討を行っているが、新型コロナウイルス感染症防止策のため4月は二部制で実施、6月は書面会議、8月は対面会議で開催した。

##### 《関係機関ネットワーク研修会》

日時 令和3年9月13日（月）18:00～19:30

会場 オンライン開催 市職員と通信環境の整わない事業者1人が市役所で参加

参加者 92人

テーマ ワクチン接種がすすんでいる中での感染症対策、そしてPOST CORONAへ向けて

講師 北海道医療大学看護福祉学部看護学科 教授 塚本 容子

#### (3) 地域ケア会議

- ・地域の個別事例を通して、地域課題を見つけ解決へつなげる地域ケア会議個別会議を実施しているが前期は未実施。
  - ・高齢者の介護状態の改善や悪化防止へ向け、地域の多様な専門職の助言を踏まえ、一人一人の支援方法を検討する自立支援型地域ケア会議を開催し、事業対象者・要支援者に対する個別事例検討を5回10事例行った。
  - ・自立支援サポート会議について、会議の意義や概要、自立支援に必要な視点についての学習会を実施した。
- 6月 市内介護事業所、高齢者施設、病院職員等向け学習会（オンライン研修） 参加者 16人  
7月 職員向け学習会 参加者 6人（介護福祉課3人 健康づくり課3人）

#### (4) 在宅医療・介護連携推進事業

- ・在宅医療と介護の連携に関する地域の課題を抽出し、その対応策を検討することを目的に、市内の医療、介護に関する関係者が集まる推進会議を開催。事例検討を通じて、課題の共通認識を図り、課題解決へ向けての対策に取り組む。会議は5月に書面会議で開催し、口腔栄養アセスメントシート活用状況、新型コロナウイルス感染拡大の日常業務への影響について書面で共有、意見交換を行った。
- ・地域住民への普及啓発として、「人生会議ミニ講座」を開催。自分がどのように生きて逝くか、考えることを呼び掛けた。 老人クラブ・体操教室7か所で開催 参加者 104人

## (5) 生活支援体制整備事業

- ・高齢者が増加する中、多様な生活支援・介護予防サービスを利用できるような地域づくりをめざす。  
生活支援コーディネーターが基盤づくりのために、地域住民の集まりに参加し情報収集と支え合いの重要性の説明や活動支援を行う他、他市町村のコーディネーターや活動者との情報交換をオンラインで行った。
- ・いきいき百歳体操休止中の参加者への訪問や電話での体調確認作業に協力。
- ・認知症地域支援推進員と連携し、啓蒙啓発活動（ホームページ、通信）、チームオレンジコーディネート等を行った。
- ・7月に滝川支え合い会議を分散して開催し、「コロナ禍における地域の支え合い活動」について情報共有を行った。
- ・減災研修「見守り・支え合い研修会」  
テーマ 普段のつながりから減災へ  
内 容 水害に備えて 備蓄品について  
講 師 北海道医療大学 看護福祉学部 教授 工藤 禎子氏  
滝川市防災機器対策室職員  
滝川市生活支援コーディネーター  
結 果 8月 5日第3小校区 参加者 47人  
8月 21日江部乙小校区 参加者 51人

### 生活支援コーディネーター活動状況

|           | 地域情報<br>周知・情報<br>収集・情報共<br>有・ニーズ調査 | 他市町村<br>連携 | 庁舎内<br>連携 | 地域活動<br>支援 | 情報発信 | 包括ケア<br>(認知症<br>等) | 協議会<br>関係 | 合計  |
|-----------|------------------------------------|------------|-----------|------------|------|--------------------|-----------|-----|
| 3年度<br>前期 | 41                                 | 8          | 13        | 0          | 0    | 99                 | 11        | 172 |
| 2年度<br>前期 | 101                                | 9          | 7         | 0          | 28   | 57                 | 1         | 203 |

## 5. 認知症対策関連事業

### (1) 認知症予防講座

認知症の基礎知識、こころがまえ、対応などについての認知症ミニ講座を行った。  
泉町福祉会館 13人

### (2) 物忘れ相談プログラムによる認知症チェック

物忘れ相談プログラムを活用し、物忘れの自己チェックや認知症に関する知識の普及啓発を図る。  
これまで地域体操教室や町内会・老人クラブ等で行っていたが、新型コロナウイルス感染症防止策のため、集団場面での実施は中止し、来所と訪問による個別対応で実施した。

物忘れ相談プログラム実施数

令和3年度前期 訪問相談 5人 来所相談 50人  
令和2年度前期 訪問相談 17人 来所相談 28人

### (3) 認知症カフェの開催

認知症の人やその家族、地域住民、専門職が、気軽に集まり認知症や介護について意見交換できる「認知症カフェ」を市内のグループホーム、ボランティア団体、家族会の協力で開設。

認知症カフェ参加数（単位：回・人）

|           | ともだち<br>カフェ |    | カフェ<br>あけぼの |     | にんかふえ |    | 地域のお茶会<br>in コスモス |    | 駅カフェ |     | 合計 |     |
|-----------|-------------|----|-------------|-----|-------|----|-------------------|----|------|-----|----|-----|
|           | 回数          | 人数 | 回数          | 人数  | 回数    | 人数 | 回数                | 人数 | 回数   | 人数  | 回数 | 人数  |
| 3年度<br>前期 | 休止          |    | 8           | 147 | 休止    |    | 休止                |    | 6    | 378 | 14 | 525 |
| 2年度<br>前期 | 休止          |    | 6           | 91  | 休止    |    | 休止                |    | 3    | 114 | 9  | 205 |

介護事業所主催のカフェは新型コロナウイルス感染拡大に伴い休止中。

（４）認知症啓発月間活動

9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせて9月を認知症啓発月間と位置付け普及啓発を行った。  
緊急事態宣言中のため来所者のみの対応とした。

- ・認知症を理解するDVD鑑賞 9月6日（金）参加者 6人
- ・物忘れ度測定 9月6日（金）参加者 15人
- ・認知症クイズ 9月6日（金）配布数 100人
- ・認知症展示コーナー ①市役所螺旋階段下9月1日（水）～24日（金）  
②市役所ロビー 9月1日（水）～24日（金）  
参加者 202人（パンフレット持ち帰り数）

協力

- ・チームオレンジ…箱ティッシュ啓蒙普及紙の包装
- ・滝川市立病院作業療法室…外来患者様が作業の一環として、普及啓発用キーホルダーを作成。

（５）認知症サポーター養成講座

認知症について、研修を修了したキャラバン・メイトが、認知症についての理解と地域での見守り支援の普及啓発の為、認知症サポーター養成講座を実施しているが、緊急事態宣言のため延期。

（６）オレンジ倶楽部

認知症サポーター養成講座を受講した方の中で、継続して情報収集を希望される方を募り「おれんじ通信」を発行し、認知症の知識や認知症に関する活動を紹介した。  
「おれんじ通信」の発行（9月）

（７）チームオレンジ

認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座を受講し、活動への参加を希望された方を対象に、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して、認知症ご本人やご家族と一緒に考え楽しむ活動を今年度から開始した。

4月13日 チームオレンジ打ち合わせ 本人0人 ボランティア4人 包括2人 計6人

（８）認知症本人の会「すまいる」

若年認知症の方と高齢者の軽度認知症の方を対象とした、認知症本人の会を開催した。  
物忘れが心配な方同士で自らの体験や希望などを話し合い、今後の生活に役立てていく場としている。  
本人だからこそその気づきや意思を共有し本人のやりたいことの実現のため、チームオレンジがパートナーになる。

8月6日 チームオレンジ3人（本人1人 支援者2人） 職員2人 計5人

（９）コミュニティ農園畑<sup>はたらく</sup>楽

介護サービスにつがっていない若年性認知症の方と高齢者の軽度認知症の方とご家族を対象とした、コミュニティ農園を実施した。

7月30日 本人4人 家族1人 チームオレンジ8人 介護福祉課6人 計19人

（10）空知自動車学校 介護予防情報コーナー

安全運転を継続するために介護予防情報コーナー（各種パンフレット・血圧測定・握力測定など）として、5月より月1回開設。緊急事態宣言発令中の期間を除き 3回実施 参加者33人

## 6. その他の事業

### (1) 家族介護者の支援

#### 介護者サロン

家庭で認知症等の介護を行う介護者に対し、介護に関する知識の提供及び介護者同士の交流を通し、心身のリフレッシュ・介護者の疲れの軽減・介護者の悩みの軽減を図ることを目的に開催。介護者とは別室で被介護者を預かる託老も行い、介護者が参加しやすい体制づくりに努めている。

6月は新型コロナ感染防止策のため、8月は緊急事態宣言発令により中止し、訪問により参加者の健康状況の確認と健康上の留意点をまとめたチラシの配布を行った。

### (2) 成年後見制度の申し立て支援

市長申し立てに関する相談は0件。

### (3) SOSネットワークシステム

徘徊による行方不明者をすみやかに捜索・発見するためのネットワークの構築。

現在の登録実人数は101人。うち、今年度前期新規登録者は9人。捜索依頼3件（全て市内）、全件無事発見。

### (4) 滝川市はいかい高齢者等位置探索システム助成事業

今年度前期における新規申請なし。

### (5) 高齢者虐待の相談支援 5件

いずれも警察からの連絡で現状を確認、関係者と連絡を取り合いながらサービス利用調整や経過観察中。

### (6) 出前講座

市民や関係機関の依頼に応じて、高齢者福祉・介護予防等に関する講座を実施。

今年度前期における実施はなし

### (7) 地域リハビリテーション活動支援事業

作業療法士が中心となり、介護予防の取り組みを総合的に支援するために、訪問・事例検討会等へ出席する他、市内の医療・介護施設等で勤務するリハビリテーション職の研修・交流の推進。

例年は年に1回施設見学会、研修会を行っているが今年度は新型コロナ感染防止策のため中止。

## 令和2年度 高齢者実態調査 結果報告

令和2年4月現在での75歳以上総人数  
令和2年度調査実施地区の75歳以上総人数  
《調査実施地区》

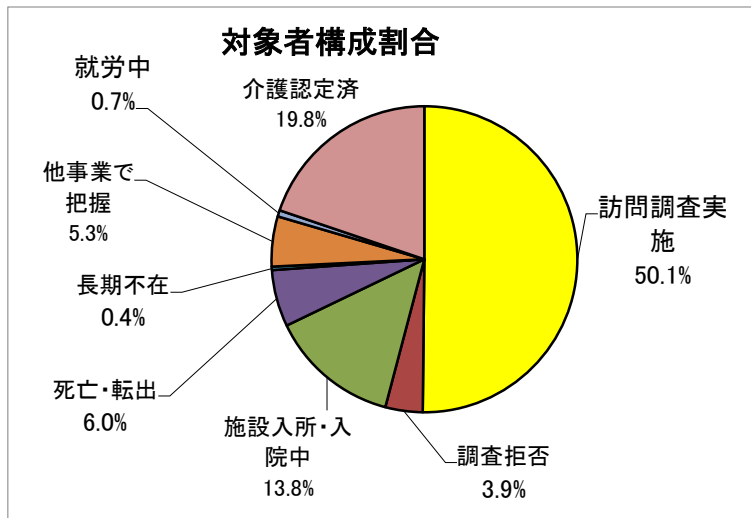
7,170人  
1,408人

西町、泉町、朝日町

・世帯構成に関係なく、令和2年4月1日現在満75歳以上の人を対象に訪問調査を実施。  
介護サービス利用や入院・施設入所が明らかな場合は訪問せず。

|        | 人数        | 世帯数 | 内訳   |      |     |     |
|--------|-----------|-----|------|------|-----|-----|
|        |           |     | 単身世帯 | 夫婦世帯 | その他 | 不明  |
| 総数     | 1,408     | 701 | 152  | 206  | 181 | 162 |
| 調査対象地区 | 西町、泉町、朝日町 |     |      |      |     |     |

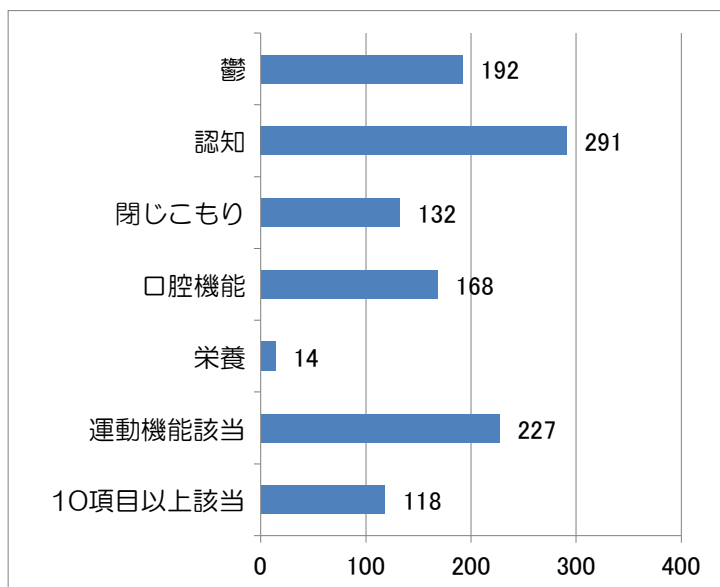
### ○対象者構成割合



| 内訳       | 人数   |
|----------|------|
| 訪問調査実施   | 826  |
| 調査拒否     | 46   |
| 施設入所・入院中 | 225  |
| 死亡・転出    | 72   |
| 長期不在     | 3    |
| 他事業で把握   | 37   |
| 就労中      | 11   |
| 介護認定済    | 188  |
| 総計       | 1408 |

### ○二次予防事業対象者内訳

実数 490人



| 内訳(重複あり) | 人数  |
|----------|-----|
| 10項目以上該当 | 118 |
| 運動機能該当   | 227 |
| 栄養       | 14  |
| 口腔機能     | 168 |
| 閉じこもり    | 132 |
| 認知       | 291 |
| 鬱        | 192 |

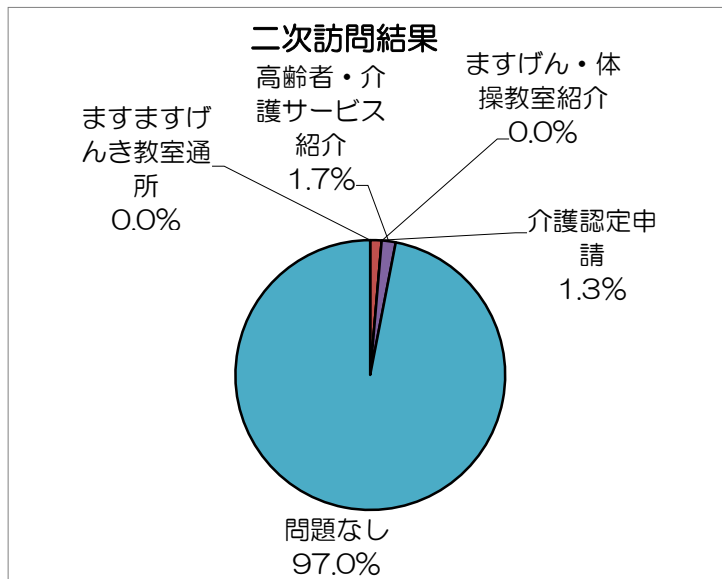
認知機能該当者が高い。

### ○二次予防事業対象者の発見率

|      | 調査実施数(人) | 二次予防事業対象者(人) | 発見割合  |
|------|----------|--------------|-------|
| 実態調査 | 826      | 490          | 59.3% |

## ○二次訪問・電話

二次予防事業対象者のうち、介護予防事業(ますますげんき教室・地域体操教室)の利用が望ましい人、介護・高齢者サービスの利用希望者、調査員が気になったケース等296人に対し、地域包括支援センター保健師が訪問・電話確認を実施。



| 内訳 | 人数  |
|----|-----|
| 訪問 | 12  |
| 電話 | 284 |
| 計  | 296 |

| 結果             | 人数  |
|----------------|-----|
| ますますげんき教室通所    | 0   |
| 介護認定申請         | 4   |
| ますますげんき・体操教室紹介 | 0   |
| 高年齢者・介護サービス紹介  | 5   |
| 問題なし           | 287 |
| 計              | 296 |

## ○まとめ

今年度の調査から、感染予防に配慮し、事前に封詰めした調査票を対象者宅に投函、ご本人に記入していただき、後日玄関先で回収する方法の調査としている。自己申告となるため、多少の誤差は生じていると思われるが、少しでも気になる人には電話確認を行った。それが昨年度より電話確認数が増えている理由と考える。

これまでは、外出・交流・手軽に運動する機会として、地域体操教室やますますげんき教室を紹介していたが、緊急事態宣言発出で教室が休みとなる期間があり、また感染症を恐れて集団の場への参加を望まない人も多く、教室紹介が難しかった。

今後も、感染対策を取りながらの生活が続くと思われるが、高齢者の孤立を防ぎ、困り事は早めに相談していただけるよう、調査と相談窓口の周知を続けていく。

# 令和3年4月～令和3年9月 認知症初期集中支援チーム活動報告

## 1. チーム員会議の開催

会議実施数（単位：回・件）

|         | 回数 | 検討事例数 |
|---------|----|-------|
| 令和3年度前期 | 5  | 5     |
| 令和2年度前期 | 4  | 4     |

※令和3年度9月は、新型コロナウイルス感染症予防のため開催を中止。

事例の状況

|    | 年齢   | 性別 | 世帯構成 | 相談者      | 支援経過                                                      |
|----|------|----|------|----------|-----------------------------------------------------------|
| 4月 | 93 歳 | 女性 | 独居   | 居宅ケアマネ   | 居宅、長男(道外在住)と支援方針について相談を計画するも、飛行機がなく長男の来訪が延期。再日程調整中に、本人逝去。 |
| 5月 | 85 歳 | 女性 | 独居   | 長女(市外在住) | 認知症と診断。介護認定受け、介護サービス開始。居宅ケアマネに対応引継ぎした。                    |
| 6月 | 74 歳 | 女性 | 夫婦世帯 | 長男(市外在住) | 認知症と診断、内服開始。地域体操教室に参加しており、見守り対応継続。                        |
| 7月 | 76 歳 | 女性 | 独居   | くらし支援課   | 他部署や長女と連携し、生活状況の確認と見守り対応継続。                               |
| 8月 | 82 歳 | 女性 | 独居   | 長女(市外在住) | 認知症と診断。一時は家族介護するも、金銭管理等の支援が困難となり入院。                       |

医療受診について(単位：件)

|           |   |
|-----------|---|
| すでに受診済    | 0 |
| 認知症と診断    | 3 |
| 現在の受診科で経過 | 2 |

支援結果(単位：件)

|      |   |
|------|---|
| 支援終了 | 3 |
| 継続支援 | 2 |

継続支援状況

検討後の事例について、家族やケアマネージャー等と連絡調整しながら、訪問・受診同行等の支援を行っている。

実件数 8件、延件数 50 件

## 2. 普及・啓発活動

リーフレットを作成し、介護福祉課の窓口に設置。

地域包括支援センターのパンフレットの中に「認知症の方と家族を支える取り組み」の一つとして掲載。

パンフレットは高齢者実態調査の訪問時に配布。

## 共生型地域密着型通所介護事業所の指定について

### 1 協議内容

滝川市が新たな地域密着型サービス事業所の指定をするにあたり、本協議会にて協議いただくものです。

※介護保険法により、市町村は地域密着型サービスの適正な運営を確保するため、条例で設置された機関で地域密着型サービス事業者の指定や事業の基準、運営等に関する調査・協議を行うことが求められています。

### 2 共生型サービスについて

共生型サービスとは、介護保険又は障害福祉サービスの指定を受けている事業者が、もう一方の制度におけるサービスの指定を受けやすくなる「居宅サービスの指定の特例」です（平成30年4月開始）。

共生型サービスの対象となるのは、訪問介護、（地域密着型）通所介護、（介護予防）短期入所生活介護の3種類であり、人員基準や設備基準の緩和が適用されます。

共生型サービスの指定を受けることにより、障害者が65歳以上になっても、使い慣れた事業所において通所介護等のサービスを受けることができます。今回、滝川市内で初の共生型サービスの申請となりました。

### 3 申請事業者について

申請事業者「特定非営利活動法人 なぎさ 風汐」は、障害者総合支援法等に基づく事業所として北海道の指定を受け、当市において障害福祉サービスを提供しています。

事業所名 トータルサポート〜リアル〜riaru

所在地 滝川市本町2丁目5番22号

サービス種類 生活介護、自立訓練（生活訓練）、放課後等デイサービス

## 共生型地域密着型通所介護事業所の指定基準と事業所の状況

### 1 申請事業所概要

|                    |                                 |            |               |
|--------------------|---------------------------------|------------|---------------|
| 事業所名               | トータルサポートリアル                     | 事業所所在地     | 滝川市本町2丁目5番22号 |
| 事業者名               | 特定非営利活動法人 <small>なぎさ</small> 風汐 | 主たる事務所の所在地 | 滝川市明神町2丁目8番3号 |
| 事業者代表者             | 理事長 立野 幹直                       | 事業開始予定日    | 令和4年4月1日      |
| 一体的に実施する指定障害福祉サービス | 自立訓練（生活訓練）                      |            |               |

### 2 指定基準及び事業所の状況

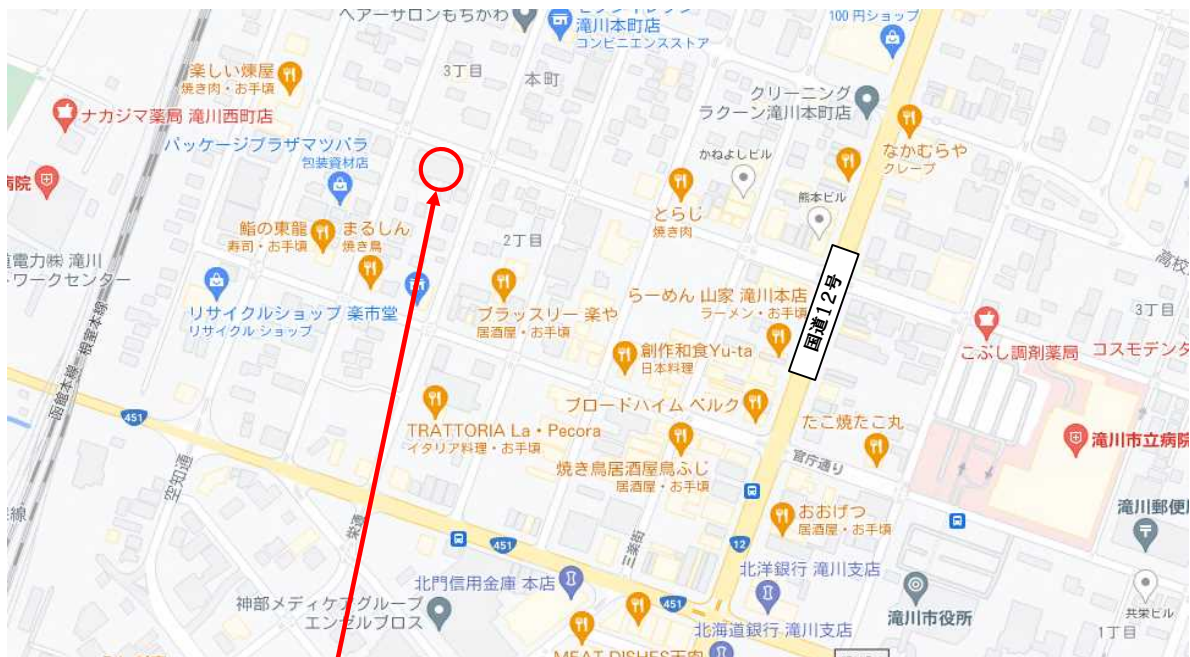
| 項目            | 人員・設備・運営に関する基準等                                                                                                                                                      | 当該事業所の状況                                                           | 備考 |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----|
| 1 基本方針        | 地域密着型通所介護の事業は、要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する生活機能の維持又は向上を目指すこと、その有する生活機能の維持又は向上を目指すことにより、必要なが、できるような生活機能の維持及び心身の機能の維持並びに利用者の社会的孤立感の解消及び精神的負担の軽減を図るものではない。 | 事業所の運営規程に記載                                                        |    |
| 2 営業日<br>営業時間 | 規定なし                                                                                                                                                                 | 営業時間・営業日<br>10:00～16:00（月～金曜日）<br>定休日<br>土曜、日曜、8/13～8/15、12/30～1/3 |    |
| 3 利用定員        | 18人以下<br>（介護給付の対象者の合計数）                                                                                                                                              | 6人                                                                 |    |

| 項目     | 人員・設備・運営に関する基準等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 当該事業所の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 備考 |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 4 人員基準 | <p>① 管理者<br/>介護保険法に基づく基準が適用される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤、専従</li> <li>・管理上支障がない場合は、他職務と兼務可能</li> <li>・指定障害福祉サービスの管理者兼務も可能</li> </ul> <p>② 従業者<br/>障害者総合支援法等に基づく基準が適用される</p> <p>障害福祉サービス(自立訓練(生活訓練))による人員基準<br/>【サービス責任管理者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の数が60以下の場合 1 以上</li> <li>・1人以上は常勤</li> </ul> <p>【生活支援員】<br/>(※健康上の管理などの必要がある利用者がいるため<br/>看護職員を置いている事業所については、生活支援<br/>員及び看護職員の総数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤換算方法で、利用者数を6で除した数以上<br/>(6:1)</li> <li>・1人以上は常勤</li> <li>・専従</li> <li>・利用者の支援に支障がない場合は兼務可</li> </ul> | <p>管理者 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤兼務 (サービス責任管理者)</li> </ul> <p>・左記の人員基準を満たし、令和元年 12 月 25 日付空<br/>保社第 5054 号により北海道の指定を受けているこ<br/>とを確認 (指定有効期間 R2.1.1～R7.12.31)</p> <p>サービス責任管理者 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤兼務 (管理者)</li> </ul> <p>生活支援員 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤専従</li> </ul> <p>看護師 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤専従</li> </ul> |    |
| 5 設備基準 | <p>障害者総合支援法等に基づく基準が適用される</p> <p>障害福祉サービス(自立訓練(生活訓練))による設備基準<br/>【訓練・作業室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練又は作業に支障がない広さを有するとともに、<br/>必要な機械器具等を備えること</li> </ul> <p>【相談室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・談話の漏えいを防ぐため間仕切り等の措置を講ずる<br/>こと</li> </ul> <p>【洗面所・トイレ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の特性に合ったものであること</li> </ul> <p>【多目的室その他運営に必要な設備】</p> <p>建築基準法による検査、消防設備等検査済証</p>                                                                                                                                                              | <p>・左記の設備基準を満たし、令和元年 12 月 25 日付空<br/>保社第 5054 号により北海道の指定を受けていること<br/>を確認 (指定有効期間 R2.1.1～R7.12.31)</p> <p>・検査済証等により確認</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |

| 項目               | 人員・設備・運営に関する基準等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 当該事業所の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 備考 |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 6 運営基準<br>(主なもの) | <p>介護保険法に基づく基準が適用される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次に掲げる重要事項について運営規程に規定しなければならぬ。             <ol style="list-style-type: none"> <li>①事業の目的及び運営の方針</li> <li>②従業者の職種、員数及び職務の内容</li> <li>③営業日及び営業時間</li> <li>④指定地域密着型通所介護の利用定員</li> <li>⑤指定地域密着型通所介護の内容及び利用料その他の費用の額</li> <li>⑥通常の事業の実施地域</li> <li>⑦サービス利用に当たっての留意事項</li> <li>⑧緊急時等における対応方法</li> <li>⑨非常災害対策</li> <li>⑩虐待の防止のための措置に関する事項<br/>(R6.3.31まで努力義務)</li> <li>⑪その他事業の運営に関する重要事項</li> </ol> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営規程にて①～⑪について規定             <ol style="list-style-type: none"> <li>①第1条及び第2条</li> <li>②第5条</li> <li>③第6条</li> <li>④第7条</li> <li>⑤第8条及び第9条</li> <li>⑥第10条</li> <li>⑦第12条</li> <li>⑧第13条</li> <li>⑨第14条</li> <li>⑩第17条</li> <li>⑪第19条</li> </ol> </li> </ul> |    |
|                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携等<br/>利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、市の職員又は滝川市地域包括支援センターの職員、地域密着型通所介護について知見を有する者等により構成される運営推進会議を設置し、おおむね6月に1回以上、運営推進会議に対し活動状況を報告し、運営推進会議による評価を受けるとともに、運営推進会議から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならない。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用申込がされた時点で下記の委員を選任し、運営推進会議を設置する見込みであることを確認             <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者</li> <li>利用者の家族</li> <li>地域住民の代表</li> <li>滝川市地域包括支援センターの職員</li> <li>知見を有する者</li> </ul> </li> </ul>                                                      |    |

※ 根拠基準～「滝川市指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスのための効果的な支援の方法に関する条例」  
 介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する条例」

## 「トータルサポートリアル」位置図



滝川市本町2丁目5番22号（旧たきかわ産科・婦人科クリニック）  
トータルサポートリアル

### 外観

